

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成23年度 第4回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時		平成23年8月24日(水) 9時58分～11時52分		
開 催 場 所		市庁舎 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、末澤委員、 安藤委員、岡田委員、田中委員、岸本委員、上西委員 計10名		
	そ の 他			
	事 務 局	牛尾教育振興部長、谷社会教育室長、古川中央図書館長、 渡瀬中央公民館長、宮脇生涯学習センター所長、 高橋中央公民館主幹、山元こども・若者政策課長、 金淵こども・若者政策課主幹、片山主任、藤巴主事 計10名		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会 議 次 第		1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)兵庫県社会教育委員協議会総会並びに研修会の会 議報告について (2)阪神北地区社会教育委員協議会第2回理事会の会 議報告について (3)各協議会の会議報告について (4)その他 4. 議題 (1)平成23年度年間研究テーマ「学校・地域・家庭をつ なく社会教育のあり方」について (2)その他 5. その他		
会議結果		別紙のとおり		

<p>議長</p>	<p>皆さん、おはようございます。 本日は、お暑いところ、ご出席いただきありがとうございます。 ただ今から、第4回の社会教育委員の会を開会いたします。 本日は全員出席でございます。よろしくご協議の方お願いいたします。 それでは、会議に入らせていただく前に、教育委員会の方から、ご挨拶をいただきたいと思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育振興部長よりあいさつを兼ねて、「花ばたけ」、「笑顔ときめき」、「青少年センターだより」等により、下記の内容等についての説明がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7・8月における教職員に対する研修などの取り組み ・携帯電話の節度ある活用についての呼びかけ等について ・中学校における非行防止、薬物に関する全校集会などの取り組み ・学校の耐震補強工事について ・「きんたくん学びの道場」など補充学習体制の取り組み ・幼稚園での三世代の交流の取り組み ・教諭や生徒に対する救急救命研修の取り組み ・全小中学校施設設備の点検について ・新任教諭の社会体験研修、実地研修の取り組み
<p>議長</p>	<p>どうも、ありがとうございました。 それでは、こども部からもお見えになっておりますので、ご挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>こども部こども・若者政策課長よりあいさつを兼ねて、下記の内容等についての説明がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催の「青少年ふれあいデー」及び11月の強化月間の取り組みについて ・今回の震災による民間企業の勤務形態変更により休日にか所の市立保育所及び留守家庭児童育成クラブを開設 ・11月の「虐待防止月間」に向けての啓発活動等の取り組みについて
<p>議長</p>	<p>どうも、ありがとうございました。 それでは、会議に入らせていただきます。 2の「前回会議録の承認」についてであります、前回の会議録の写しがお手元に配布されておりますので事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、6月22日に郷土館において開催されました平成23年度第</p>

<p>議長</p>	<p>3回の会議録についてご説明申し上げます。お手元の会議録の写しをご覧いただきたいと存じます。</p> <p>会議録につきましては、前回までと同様、1頁目には会議日程や出席委員などを記載いたしております。また、2頁以降につきましては、会議次第にもとづきご協議いただきました経過等について調製させていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>説明は終わりました。</p> <p>ただ今のご説明について、何かご質問等はございませんか。</p> <p style="text-align: center;">(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>特に、ご質問もないようですので、前回の会議録はご承認いただいたものといたします。</p>
<p>議長</p>	<p>次に、3番目の報告事項であります。</p> <p>前回開催から約2ヵ月近く間隔があいておりましたので、社会教育委員の皆様方、あるいは県とか阪神関係の会議、また各協議会等々の会議にご出席されて、報告しておかなければならないような部分について、項目に従って報告をお願いしたいと思います。</p> <p>まずは1番目であります。県の社会教育委員協議会総会並びに研修会がございました。お手元に、当日の会議資料の写しが配布されておると思います。7月6日にホテル北野プラザ六甲荘で開催され、I委員とE委員と私と事務局とが出席いたしましたので、まず、私の方からご報告させていただきます。</p> <p>議長より、資料にもとづき下記のような内容で報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度の県の役員の承認、活動方針や目標、行動指針等について ・全国、近畿、県関係の今後の会議や大会予定について ・研修会における講演について <p>他の委員さんで、何か追加説明等がございましたらお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(発言なし)</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、引き続きまして、(2)の阪神北地区の第2回理事会についてであります。お手元に資料が配布されております。</p> <p>7月13日三田市で開催されまして、I委員と私が出席いたしました。この理事会では、本年度の研修会等をどのようにやっていこうかということが主な議題で三田市の事務局案が承認されました。今回は、学校支援地域本部というか、学校との連携で各市ともいろいろと論議をされ、それぞれ学校支援本部の活動をやっておられるところなんですが、隣の池田市の池田中学校の活動が朝日新聞に連載されておりましたので、池田中学校における学校と地域、お父さん方、あるいはOBと、いかに学校と連携しな</p>

	<p>がら支援をしていくかという活動を三田市から提案されまして、市立の池田中学校の現場を視察、そして学校の方、地域の方、保護者の方、あるいはOBの方等々のお話、「池中MTP」ということで実践されておられますので、学校との連携の部分で研修会をやるということ、来月29日の午前に用意をしております。</p> <p>そのほか、他市との交流でございますけど、それぞれの社会教育委員の会では改選があったり、あるいはまだテーマが決まっていなかったりというようなことで、スタートしたばかりで、それぞれ各市が抱えている問題を踏まえて、これから論議をやっていこうかという状況報告だけがございました。ただ、三田等においては、社会教育委員の会を所管しているのは市長部局のまちづくり部です。付属機関としては教育委員会の部分なんですけど、教育委員会が全部絡めてという形ではなくて、市長部局が指導する形の中で、こういう社会教育をやってらっしゃる役所等ということで、なかなか、そう簡単ではないと感じたところでございます。</p>
議長	この件につきまして、何かご質問はありませんでしょうか。
	(発言なし)
議長	ご発言がないようですので、次の3番目の「各協議会の報告について」各委員さんの方でございましたらお願いいたします。
B委員	<p>私の方から、放課後プラン運営委員会について報告いたします。</p> <p>こども部の所管ですが、6月23日に市放課後プランの運営委員会が開催されました。</p> <p>今回、特に、市内16小学校区、全校区が整ったということで、一番最後に、川西小校区が活動するということです。ただ、実質的には、今年からですので、具体的な内容については、まだプランは出来上がってないんですが、他の校区と似たような活動方針を出してこられるということで、これで体制としては、一応、市内全体が整ってきたということです。</p> <p>それと、23年度の各小学校区の運営委員会の方で、計画内容を網羅されておられますので、それについて報告をいただいたというようなことが主でございます。</p> <p>この9月21日に、その指導者の方々に寄っていただきまして研修会を開くというような計画を、いま進められておられます。</p> <p>それともう一点は、6月29日に市の青少年センター運営委員会が開催されました。この社会教育委員の会の方も、その一メンバーという形で参画しておるわけでございますが、内容的には、平成23年度の事業計画の説明が主体でございます。特に、私の記憶に残ったのが、丁度2年前ぐらいですか、携帯電話の関係で、各学校、いろんなことを報告を受けたりしながら、この社会教育委員の会でも論議をされた経過があるわけなんですけれど、まだ、学校現場の方ではいろいろと問題が残っておるとい</p>

	<p>うなことの報告等もございまして、まだまだ解消に向かった方向は難しいなというような感じをいたしました。</p> <p>この二点、簡単ですが、こういう内容で開催されたということを報告をさせていただきます。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、学校支援地域本部のコーディネーターの一員であります田中委員さんから、資料を作っていただいておりますので、ご報告やご紹介をお願いいたします。</p>
<p>F 委員</p>	<p>学校支援地域本部事業も3年過ぎまして、新たに今年も続けていけることになりました。そして、今までは、図書の方に特化して取り組んできたんですけども、今年は、いろんな面でもっともっと皆様と繋がっていったらなということで、今年の講習会は、お手元にあるかと思いますが、川西の学校ボランティアの皆様にご贈る優しさとしての文化、木津川計先生の講演会を考えております。</p> <p>その他、次のような報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団とコラボでアートフェスタを実施したことの説明 ・地元出身で地元などで活動しているマリimba奏者についての紹介 ・市内の中学校、高校を卒業したチェンバロ奏者についての紹介
<p>A 委員</p>	<p>上記のチェンバロ奏者についての補足説明があり、川西でやるにあたっては一人ではできないので、地元の中学校や高校の同窓の方、同級の方がサポートしていることなどが報告された</p> <p>やはり、こういう地域で育った方が全国的にも活動し、また地域のいろんな資源を使ってやっていこうという思いをもってらっしゃるという、そういうところを上手く活用していく手はないかなと、私も、このお話を伺った時に思いました。こういう活動は、それぞれの地域であると思うんですけども、それを点じゃなくて線としてつなげていけるようになったらいいなという思いであります。この方も、川西には、いまお住まいではありませんが、縁のある方ですので、ぜひ聴いていただいて、またつながっていき、そういうことをもっと皆さんと一緒に考えていけたらいいなという思いであります。</p>
<p>F 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティストで、絵本作家である地元中学校の卒業生の紹介 ・中学校の「夏の寺子屋」における、学校支援ボランティアの紹介 ・夏の先生方の夏期講習で、聴きかたの講演会開催についての報告
<p>議長</p>	<p>その他は、何かございませんか。報告のところ、ご質問やら、ご意見やらありましたらお願いいたします。</p>
<p>E 委員</p>	<p>青少年問題協議会が7月29日にございました。先程、青少年ふれあい</p>

議長	<p>デーの話がでましたが、それも一つでございました。その他、23年度の青少年の表彰について、社会教育委員の会で推薦をしてほしいということの依頼でございます。それと、23年度の青少年フォーラムについて、来年1月28日、午後1時半から川西市の文化会館大ホールでございます。内容については、いま、検討中でございます、詳細は決まっておりません。1月28日の土曜日の1時半は、皆様こそって参加してほしいということでございますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p>
議長	<p>それでは、次に、議題に入らせていただきます。</p> <p>前回、郷土館で会議を行いました時に、社会教育施設の利用・活用の方法等で、具体的な形で、例えば、郷土館を中心としたところで各委員さんの方から活発なご意見がございまして、それらを、今日、一応、集約といいますが、まとめていきたいと思っております。</p> <p>川西における社会教育施設の利用・活用について、前回は踏まえまして、各委員さん、頭の中で、ある程度の整理はされてきておるかなというような思いはあります。</p> <p>申し訳ないですけど、A委員さんの方から提起といいますか、社会教育施設の利用・活用、川西の現在の状況など、事務局等に提起、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>
A委員	<p>前回、郷土館の方でしたので、郷土館の活用について少しお話をさせていただいたと思います。その中で、他の委員と一緒に、カフェやレストランがあったら良いなという話しをしたことが皮切りだったという気がいたします。やはり、見学施設だけに終わってしまうとなかなか活用というのはできない。郷土館のような施設では、そこに何度も足を運べるようなことを考えないといけないんだろうなというのが一つです。その中で、カフェとか、レストランということなんですけど、なかなか中で作るの難しいので、その周辺地域とかで、そういうものが出来ていけば、あそこに魅力的なものがあるから行きましょうと。その中で、特設の展示があれば、郷土館を覗いてみようかという感じになるのかなと私は思っています。</p> <p>郷土館あるいはどこでもそうですけども、地域の人と一緒に作っていかないといけないんだろうなと思っています。実際、いま地域の人も一生懸命考えておられて、郷土館から、山下からの周辺の所は、一昨年か昨年ですかね、東谷の商業会の方が地図を作ってもらっちゃるんです。去年ぐらいには、川西市と能勢電鉄と一緒に助成金を使って駅周辺のマップを作ってもらっちゃたりするんです。そういうものは皆さん頑張って作ってもらっちゃるんですけども、その中で、それが地域に住んでる人とつながっているかどうかということがね、関係者だけになってしまってもいけないんだろ</p>

	<p>うなと思っています。例えば、郷土館とか、そこで活動するボランティアさんとかいらっしゃるんでしょうか。そこで、例えば、時々、お茶をたてたりとか、お掃除をしたりとか、植木の剪定とか、掲示とか展示のやりかえなんかも一緒にやってくれる人とか、そういうので、古いものに触れたい人もいると思うので、そういう人で、地域の中から入ってもらえるような形をしていくとかしたら、もっと関心をもってもらえるのかなと思うのが一つです。</p> <p>それから、もう一つ、山下駅からの通り道に、東谷小学校があったり、何軒かはお店屋さんもあったりするので、その点で、東谷小学校とか、地域のこと、皆さん勉強していると思うんですね。そこで勉強したことが、昨日、ふと思ってたんですけど、例えば、東谷小学校のフェンスのところに地域の支援みたいなものを書いたようなものとか、作ったものとかを、ぽっぽっぽと貼って、こんなところがあるんやと思って、関心を持ってもらえるような、そういうのも子どもたちも作って、それが地域の人目に留まって、もっと大事にせなあかなとかというような気持ちをもってもらえるような、見える形の何か工夫が、商店会さんや能勢電さんだけじゃなくて、地域の人と一緒にできたらいいのかなと思いました。</p>
議長	<p>郷土館のお話から出まして、具体的にこういう論議をしていかないとかあかなかなというように思っております。どうしてもこの会議は抽象的な形の部分になりやすいので、事務局サイドも、今の意見、このような意見、前回も茶席の問題、一つの提起、経験談、学校の校長さんの方からは社会見学の中の、一つの枠の中の現状の部分等々がしっかりと述べられておりますので。</p>
D委員	<p>あの会議の後、館長さんに、何度も来ていただくということと、知ってもらうことを兼ねて、童謡の会を開かせていただけないかということをご提案させてもらったら、それが受け入れていただきまして、11月3日に10時半から12時まで、童謡を歌う会を開催します。郷土館の主催で無料です。それ以降、12月からは第3水曜日の10時から11時半、郷土館を知っていただくという意味と足を運んでいただくという意味で、毎月、童謡を歌う会をします。</p>
議長	<p>委員さんの方が、具体的に、社会教育委員の責務というか、影響力というものが講演なんか行っても出されておりますので、具体的にそのようなアプローチを出されて、行政の方がそれを受け入れられる分は受け入れられるという一つのいい例かなと思います。</p> <p>他に、ございませんでしょうか。</p>
F委員	<p>先程申しましたアートフェスタの第2回を学校支援地域本部も共催で、郷土館でしたいなという提案をさせていただいたんですが、詳しくは分からないんですけども、結局、実現しなかったという話になってしまった</p>

	<p>ようで、もっと、いろんな人に、いろんな方法で使っていただける方に進めていただけたら嬉しいなと思いました。例えば、新しいことをするのに、今までないからとっていったらなかなか進まないのではないかなと。一度やってみて、駄目だったら、改良するとか、それは止めて、次に方法を考えるとかとしていかないと、今までそういうことがないのでやりませんとなったら、なかなか新しい方法が見つからないのではないかなと思います。</p> <p>前も言いましたけど、本当に、主婦の口コミは早いですから、何かそういうので、何度も足を運んでいただけるような機会をもっともっと作っていかないと、一度行って終わりになってしまわないかなと、ちょっと思いました。</p>
議長	<p>前回の会議で、事務局サイドのお話にも、教育委員会の管理の部分では問題を抱えて、100%要望に応えられないような事情やら、条例上の問題やら、規則の問題なんかがあり、そこを突破していくためには、こういう会やら、いろんな市民の意見というのが大きな影響を与えるのかなというふうに思うんですけど。それに付随しまして、ご意見、ありましたでしょうか。</p>
C委員	<p>いま、お聞きしたところでは郷土館の利用をもっと市民に近づけたいという方向でお話をなさっておられたように思いました。私も、川西に長い間住んでおりながら、郷土館には一度しか行ったことがありません。一度行って、本当に素晴らしい建物で、これがどうしてみんなに広がらないのかなと。川西はもとより、川西の中でもなかなか広まっていない。私の知り合い、いろんな女性の方やら、男性の方やら、あまり馴染みがないんですね。どうして、もっと上手くPRして、いろんな人が見に行ったり、郷土館という名前が付いてるわけですから、川西の古い歴史なんかに触れる機会を作っていただけないのかなと思ってました。郷土館は普通の公民館とは違うので、条例か何かで利用の方法が制限されているのでしょうか。</p>
議長	<p>全て条例・規則でやるんですね。</p>
C委員	<p>そこが、やっぱり、いま、いろんなお話を聞いて利用することの一つのネックになっているのかなと思いました。</p> <p>それから、何か、郷土館の利用ということでは、いろんなご意見が出ましたけど、何か、もっと、子どもたちがそこで何かを実際に体験できるようなイベントがあると、子どもを通して保護者の方にも、郷土館というものの名前が知れ渡っていくのかなというふうに感じております。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あそこにはミュージーゼ、美術館もあり、郷土館もあります。平賀邸もあり</p>

E 委員	<p>ます。基本的には、やっぱり市民に知ってもらわないとあかんし、事務局でもその努力を四苦八苦されておられて、我々、委員の会にも、意見を求められているという部分もあるうかというように思います。</p> <p>確かに、古い建物ですし、制限があって、お茶をするにしても、襖などは絶対に破らないでほしいと、これは大前提でございまして、そういう意味で、古いことを守ること、これはまた大事なのかなという気はするんですが、使い勝手としては、非常に気を使うところですね。だから、素晴らしいお部屋もあることですし、もう少し催しが出来ないのかなと。それこそ、いま言われたように、他市の方がどんどん来られて、“こんなにいい施設があるの”、“こんな所でこういう催しが出来るの”というようなことがあれば、そういうきっかけづくりというものは凄く大事なかなと思うんです。要は、人間というのは非常に勝手なもので、いくらいいものが出来ても、それに関心のある人となない人があるんですね。ない人には、いくらどのようにしてもなかなかこちらを向かないという、公民館利用もそうだと思うんです。利用する人はフルに利用して活用されているんだけど、利用されない方はどっち向いているのか分からないという感じで、関心がないんですね。ところが、ある何かの出来事で、“あっ”という気づきがあって、きっかけづくりというか、そういうものがあれば、それを第一歩として、いろんなものに踏み込んでくるということが、往々にしてあるんです。その第一歩はなんやねんというようなことを、ちょっと考えることも大事なかなと思います。</p> <p>人の関心というのはいろんなものに向いていると思うので、自分にあつた関心に到達するものがあれば、非常にいいのかなという気はします。</p>
議長	<p>以前、県の社会教育委員の大会の時に、文化財の保護やら、市の歴史の保存と継続というか、そしてその活用、PRの仕方等々について、社会教育委員の会から教育委員会に答申された市があったんですが、今、論じていることと全く同じことなんですよ。それをどのように踏み込んでいくかというところが、具体的にそういうのは分かってくれば、こういうような形でPRするということが、まず大事ではなかるうかなと思うのですが。B委員さん、違った角度から、ご意見をいただけたら。</p>
B 委員	<p>難しい問題やと思うんですけどね。確かに、全国的にいても、例えば明治村とか、テーマパーク的な要素で物を作ったりする場合は、人寄せパングミみたいな形で人が常に集まるんでしょうけれど、こういう小さな町のそういう古い建物、保存が主になるのか、それとも見てもらうのが主になるのかというのを、特に、あそこの施設は、元々、目的は何やったんやろなという感じを常に抱くんですね。だから、事務局として、あそこのエリアをどういう風にもっていきたいんかなという考えを聞いたことがないのでね。事務局で、あそこのエリアというんですか、地域を、どういう風に将来もって行きたいなという方向付けをお持ちやったら聞かせていただき</p>

	<p>たいなと思うんですけど。</p>
議長	<p>委員さん、いま、現在の部分ですか。出来た当初の部分ですか。</p>
B委員	<p>今も含めてです。単発的なやつは必ず出来るでしょうけど、長期にわたって、市民があそこを通過して、あえて向うを通過していくような意識が、今のままやったら出来るのかな。ただ、建物は古くて立派なものだけど、我々も行ったら立派なもんやなという気持ちは持っているんだけど、これをどういう風に、今後保存して、公開していくんやということになると全然イメージが湧かないですね。</p>
議長	<p>だから、具体的に、まず、今以上に知ってもらうことと、その手法はどういう方法があるんだろうかと、そして、全体のプランをこの委員の会やら他のところで、審議というか、諮問でも受けるんだったらまた、受ける受けないは別として、何とか我々の中で論じていこうかなとは思ってますけど。いかがでしょうか。</p>
B委員	<p>ただ、我々自体が、あそこにああいう施設があるなということは十分承知しておるんだけど、あれを、どういう活用方法、今後していくんやろなということも、もの凄く興味はあるんです。興味はあるんですけど、具体的にそのエリアをこういう方向で今後発展させたいんやというような方向付けがなされていけば、その方向で議論はやりやすいなと思うんですけどね。</p>
A委員	<p>いま、おっしゃることはよく分かります。そのへんは、市の施設なので勿論、市役所の方の考え方とかはあると思うんですけども。市民がこんなふうになってほしいなという思いをみんなが出して行って、みんなが使えるとか、憩いの場になるとか、こんなふうになってほしいなという声が強ければ、みんなで文化財を守りながら、使う方法を一緒に考えていく、そのへんが私たちが提案したり、また、いろんな場で、他の市民が参加される場の中でも、出されていく中で決まっていくことかなという気もしてるんですけど。</p>
議長	<p>本年度、23年度前半を含めて、これを中心に論じている部分は、我々の意向としては、なんとかこれを問題化して、いい意味でお話が提言できたかなという基本的なことはあるんですけど。取り敢えず、今時点で結構ですので、事務局の方で、もしやっておられる部分やら、今の現状やら、例えば、仕分けなんかも予定されていると聞いておりますので、どなたかお願いいたします。</p>
事務局	<p>郷土館も含めて文化財施設について、いま議長がおっしゃったように公開事業レビューに、今回、当たっているところであります。</p>

当初、設置された時は、大正時代の立派な和風建築ですので、それを保存していこうと。今、問題になっているのは、それをどう活用していこうかと。教育委員会の社会教育室、文化財担当の方で管理しておりますので、設置及び管理に関する条例は、この施設については見学施設として、大人一人300円ですか、それと、いろいろ段階的に料金を決めて、見学施設として設置しております。それと、ミュージゼの方は青木大乘さん、平通武男さんの絵画を寄付いただきましたので、それを保存していこうと、もちろん展示する美術館的な要素として、青木先生と平通先生の絵画を展示する施設としてミュージゼの方は設置しております。アトリエ平通の方につきましては、平通先生が川西市内で活動されていた建物を再現して、それを見学していただく施設としようとしております。いま、課題となっておりますのは、そこに、いかにたくさん、PRして、来ていただくか、見学料を払っていただくか、それをするために、いろんなイベントをしているんですけども、設置及び管理条例に基づいた方法で、その範疇で実施しています。文化財担当の方で、レストランとかカフェとか、そこまで進んでやっていくべきかどうか。各市いろんな所では、条例改正して、指定管理者等々に別れています。文化振興財団とか、そういうところで管理運営としておられる所もありますし、伊丹市さんなんかもそういう形でやっておられるんですけど、復元された施設じゃなくて、川西は元々あった立派な施設ですので、先程おっしゃったように襖とかガラスとか、一度壊したら復元できないような施設であるんで、それを十分保存しながらも活用できればいいかなと悩んでいるところです。

構想とか、そういうのは、昔はいろいろな構想を立てられましたが、いろんな事情、財政事情なんかで断念してきたところもあります。大型バスが止まれるような駐車場を民家を買収して作って、北部地域の観光施設の一拠点として、後ろの山下城を含めて国史跡に指定して、ここから情報等を発していくような案もあったようには聞いているんですけど、今現在では、まだ、そういう構想的なものはないです。現在は国登録重要文化財の保存・活用がいま目的でやっております。

E 委員

市としても難しいところやと思うんですね。今おっしゃったように、そういう施設を管理して、立派にいついつまでも存続させていこうという、これが大前提でしょうけど、それにはお金がかかる。だから、何がしかでも、そこで利益を得てですね、その補填をしていきたいという、それが本来の気持ちやないかと思うんです。あれをですね、何かにして儲けて、何か商売して、わぁっとやる気は毛頭無いだろう。そんなことをしたら施設も傷みますからね。だから、川西市だけじゃなくて、そういう昔の古い物の管理をしていくっていうのは一番難しい。管理はせないかんは、赤字ばかりで、補填するものが何も無いというのが一番難しい話なんですね。非常に難しい存在ではないかと思えます。

議長

委員が言われるように、我々、常に行ったり来たりもして、事務局も同

	<p>じかなと思うんですけど。基本的に、文化財やらこういう文化的なこと、あるいは遺産的な物は、やはり、絶対保存を後退させたいかんとこのを、僕は常に論じていかないといけない。それをプラスアルファして、その維持管理という部分、その財政的なことが常につながってくるんですから。例えば、公民館有料化の問題の時に、やはり基本的にただの方が良いんですよね。ところが、維持管理していかないとあかんという部分、しないことにはそれこそ元が無くなってしまふことになってしまう。そこを何とかいい知恵をですね、市民の意見で、PR不足と決め付けている訳じゃないですけど、今、聞きますと、色々とされていてらっしゃる様ですし、具体的にPRされながら、そことどうつなげていこうかで、挫折されながらも、有効的な場面で発言される形の中で培っていきけるんじゃないかと思うんですけど。</p>
C委員	<p>もう少し情報が欲しいですね。他の市の郷土館はどんなふうになさっておられるのかとか。なかなか私には知恵が出てこなくて、もっと情報があつたらどうにかなるのかなというふうに。</p>
議長	<p>事務局、どうでしょうかね。情報といいますが、三田、あるいは伊丹、ちょっと概略はお話されたんですけど、情報はありますか。</p>
事務局	<p>阪神間の情報はあるんですけど、ちょっと正式には覚えてないんですけど、伊丹市さんは郷町で岡田家住宅ともう1軒ありまして、そこは、指定管理で運営されてて、仕出しを取ってそこで食べられるような形、その周りには、美術館とか、工芸館とか博物館とか色々な施設があるんです。そこを訪れた方が食されてる。そこは、指定管理でされてる。宝塚も文化財を保存する会の指定管理で、これはもうシーズン決めて、土日祝日だけ開けて見学案内されてるみたいです。猪名川町も「静思館」ですか、文化協会さんなんか活動に使われているようです。川西と似たりよったりで、伊丹さんがちょっと進んでいるかな。ただ伊丹市さんはそういう昔の歴史的な部分もあるんですけども、全て新しく造り直された施設なんで、割と比較的壊れても修復、再現可能なんで、積極的に使われるようです。三田市さんも相当お金をかけて修復されて見学施設にされてるみたいです。資料等につきましては手持ちがないので。</p>
議長	<p>また近いうちに資料を頂けましたらありがたいと思います。指定管理の問題が出て、この論議をしていきますと、いま言われたようなそういう情報なんかも入ってくるのが起ころうかと思えます。</p>
E委員	<p>PR面で考えるならば、小学校でこうした施設の見学会とかはないんでしょうか。例えば“あんな所で銅の精錬を昔やってたんよ”とか、“そんな跡が残ってるでしょう”ということ子どもたちは誰も知らないでしょう。そういうことを知らしめるというか、それこそPRしているような、</p>

G委員	<p>そういう会はあるのでしょうか。</p> <p>前回の会の後、学校に帰りながら、ふと思い出したことがあったんですけど、私がほとんど新任の頃ですけど、深山池公園の歴史民俗資料館、あそこに子どもを連れて行ったことを思い出して、それもクラブの時間に連れて行ったんですよね。授業の中でなくて、クラブの時間に連れて行ったので、かなり無理をして連れて行ったんですけども、やはり中はね、実際に使われていた物が置いてあるわけですから、非常に興味深いものがありますからね、ぜひ見せたいという意識があったんじゃないかなと思うんですけども。3年生の学習の中に出てきたりとか、4年生も関係するんですけども、その中で、川西の中にこういう良い物があるということをもっとこう授業の中で教えてゆく必要があるんじゃないかと思いますよね。したら、授業の中の、3年生でしたら環境体験学習で外に出て行く時の帰りに入れるとかね、4年生だったら里山体験学習の帰りに入れるとかね、そういうことをしてより関心を高めていくというようなことは必要じゃないかと思ったんです。</p> <p>それと、ちょっと思い出したんですけども、深山池公園の奥の所でちょっとしたステージがあるんですけども、そこに北陵のコミュニティの方でいつも10月に“虫の声の夕べ”をやっているんですよね。ミニコンサートみたいな。去年は、若手の音楽家の方が来られ、力を持ってる、そういうグループの方が演奏されていて、非常に良い音楽だったんです。帰ってインターネットで見ましたら、共同生活をしながら、技術を磨いてきているけれども、なかなか発表する場がないようです。一人ずつでも派遣するし、何人かでも派遣するようです。そういう非常に力を持ってるけど、なかなか発揮する場が少ない、郷土館の広場の辺りで、ミニコンサートというか、一人でも二人でもそういうコンサートをするような形にすれば、またそれを見に来られたついでに、どちらが主になるかわからないですけど、郷土館の方を見て貰えると思います。そういうふうにして、とにかく沢山の方に来て頂けるようなそういう場を作る工夫がやっぱり必要じゃないかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。今、委員のお話のつながりの部分なんですけど、学校の子どもたちに期待するところの部分の一端でお話されたんですけど。</p>
E委員	<p>先ず、子どもさんをそういうところで理解を深めさすということは、いつまでも子どもじゃない訳で、その方達が段々大きくなっていくんですよね。すると地元に対しても非常に関心が高くなって、川西市ってものすごく史跡が多いですよね。そんなことを本当にご存知なのかなと思うわけです。そういう事を知ることによって、わが町をものすごく愛することができるのか、自信を持つことができるのか、まさに私はここがふるさとやというふうになるのではないかと思うんです。</p>

<p>議長</p>	<p>川西市というのは、私もそうですけど、新しい人が他の市から多くの方が移って来ておられると思うんです。そうして見てみますと、川西市ってどんなとこやねんというところを色々調べると、大変歴史的に素晴らしい史跡がいっぱいある。そんな所に住みながら、もう一つ自信を持っていないという感じがするんです。そこらを強く生き抜く為に知らしめるというのが、理解をしてもらうことは非常に大事やないかなと思います。わが町、ふるさと、という感じになるんやないかという気はするんですね。</p> <p>学校教育とのつながりの部分で、若い子たち、子どもたちにわが郷土という思いの部分、例えば、郷土館のことやら、あるいは地域支援本部のボランティア活動なんかも、その新しい住民、構成メンバーを中心にしながら一生懸命川西を基盤にしながら活動をしている若い子たちの活動の場を、何とか作ってやろうという動きというものをやってらっしゃるので、あるいは、最初に部長のお話があったPR紙上等について、本当に情報発信をされておるといところはものすごく大事にしていかなあかんのかなと。</p> <p>D委員さんがやってらっしゃる部分のつながりの、基盤的な、それもやっぱり郷土とつなげてやってらっしゃるという部分があるんですけど、例えば、こんな活動の中から、色々つながりの中で、絆の中で広がっていった部分があるんですけど、特に、学校あるいは児童、生徒たちへのつながりのところなんかで、支援本部絡みも出てくるんですけど、教育現場も絡んで、社会教育施設、あちこちにたくさんあるんですけど、その辺のつながりの中で、考えていかないとあかんような部分での、もしお話があったらお願いできますか。</p> <p>「童謡を歌う会」なんかの、ちょっとお話がありましたけれど、そういうところの教育現場とのつながりはあるんでしょうか。</p>
<p>D委員</p>	<p>童謡普及実行委員会の方では、大きな催しとしては、「千人で歌う童謡の会」といって川西文化会館大ホールで2回ぐらい催しました。その収益を教育委員会の方に寄付させていただいて、具体的には幼稚園の方から希望された品物を購入して寄付する形で寄付させていただくようなこともしています。</p> <p>童謡普及実行委員会として、学校の方へ出向いて童謡を実際に普及したいとは思ってるんですけども、まだ子どもたちの前では、その歌う会というのは開いたこと無いです。「千人で歌う童謡の会」には、子どもたちも出席していただきましたし、幼稚園の先生方も出席していただいたりして、一応、今は広める地盤を作っている段階です。各地では、清和台公民館、緑台公民館、北陵公民館、川西南公民館、大和の自治会館で毎月「童謡を歌う会」を催しています。延べ2～300人位の方が来ていただいています。その人達に、今、やりながら呼びかけて、郷土館の方にも来て下さいということをお願いかけてます。</p>

C委員	<p>私、ユネスコ協会に入っているんですけど、いつも小学生、中学生対象に「私の町のたからもの絵画展」で絵を募集してるんです。本当は、川西の宝物、例えば文化財とか自然とかを絵に描いてもらってそれを応募してもらうんですけど、今まで11年間やってきたんですけど、あんまりこの郷土館の絵ってないんですね。何が一番多いかといいますと、やはりカブトムシの絵が断然多いですね。それと、イチジクが多いです。それから文化財でいうと多田神社がすごく多いです。それに続いてナイチンゲール像なんですよ。いかに、子どもたちがこの郷土館に馴染みが無いかという事をいま思い出したんです。ユネスコ協会で絵画展をやっている途中で、写生会をやってみようかという案が出たんですけど、ただそれは、実現できなかったんですけど。夏休みに描いて貰うので、やはり子どもさんの安全面を考えてしまって、それほどユネスコ協会役員の数が多いので、安全が図れないんじゃないかということで、立ち消えになってしまったんですけど。</p> <p>ユネスコ協会が実行できるかどうか分からないんですけど、例えば、教育委員会かなんかが、郷土館を写生する会とかを、もしやられたりすると、郷土館の中に入る訳じゃなくて、建物を描いてもらう事になると思うので、中の物を損ねるという事もなくて、子どもたちにも知ってもらうんでしょか、そういう機会になるんじゃないかなあというふうに、いま、ふと思いつきました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。参考になったかなと思うんですよ。</p> <p>私自身の経験の中で、水資源公団が一庫ダムを宣伝する時に、本当に、子どもの、児童たちの写生会をバンバン、バンバンやられたんですけど。十数年前ですけど。ああいうやり方のPRといいますか、自分ところの一庫ダムを中心にしたね。今もやってらっしゃるか知らないですけど、ああいうことも、いまの委員なんかの。</p>
D委員	<p>コンテストしたら良いですよ。</p>
議長	<p>これはちょっと、事務局サイドの部分になるのかなと思いますけど。</p>
I委員	<p>コンテストを、写生だけじゃなくて、写真であったりとか、俳句であったりとか。今年のテーマは郷土館です。来年のテーマは加茂遺跡で、集めて、それをできれば、美術館ですか、ああいう所で展示するとか。良い作品には市長賞だったりとか、そういう賞を贈って、展示はアトリエで、それでもやはり賞を頂いて展示してもらえると嬉しいことですし、たくさん来て頂けることになるかなと思います。</p> <p>それと、こういうのは定期的にずっと、毎年、何月はこういう事してますっていうような、定期的なものがないといけないのかなあって思います。</p>
議長	<p>もう一つ、根幹的なところの部分ですけど、このような社会教育施設な</p>

	<p>んかを含めていろいろな資料館もありますし、加茂遺跡の問題もありますし、学校との連携で如何に社会見学をコースの中にやってらっしゃる部分もありますし、もっとPRというつながりは、やはり大きく提起されたと思いますので、これはまとめられると思うんです。</p> <p>それで、特に施設の面だけでなく、ハードの提案等もあったんですけど、そういう文化行政的な形の部分を前回も個人的に述べたんですけど、窓口、集約、そこが、施設関係の部分は、行政サイドの部分では主管が分かれてしまっている部分があります。公民館もあれば、生涯学習センターのOBの方で川西の写真というか地域の紹介といいますか、そういうグループも出てきている。そういうソフト面のところをうまく社会教育施設とつなげられる総括したところの部分が行政の中ではどこなんだろうかということで、個人的には思ったり、悩んだりもするんですよ。</p> <p>郷土館で今のような施策をやっていこうと思いましたが、多分、国際文化というか、その所管の部分でいえばですね、ソフトの部分では、そういうような形の部分があるのかなと。それと放課後子ども教室のこの活動なんかでもですね、よくよく考えてみたら社会教育、野外活動の部分はあれですけど、そして学校教育現場の教室やらそういうところの部分もある。郷土館やら公民館を使って放課後子ども教室となった時にはちょっとご苦労があるんじゃないかと感じたりするんですけど。B委員さん、放課後子どもがらみの部分なんかのお話を聞かれてて、そういう悩みはございませんでしょうか。</p>
B委員	<p>非常に難しいご質問なんですけど、子ども会自体が大分弱体化してきて、塾とか色んな学習方面に参加されているような時期ですので、特に、我々体育協会の方も、子どものスポーツ参加について、すごく将来を担う逸材ですので、そういう機会を与えたいという気持ちで各協会とも努力しておりますんですけども、非常に難しい要素が最近あるわけです。というのは、やはり事故が起きた時の対応、後の対応の問題が、いろいろな問題が具体的な形で出てきますので、そのへんの条件整備をちゃんと整えていながら、そういう子どもたちのスポーツに参加できるような体制作りということですか、道順を作っていくみたいなということで、今、体育協会の中でも、いろいろ協議はしておるんですけど、やっぱり難しいんですね。お金出す人がなかなか居りませんのでね。その点、先程からお話し出てますように、やはり市民として希望する側と、役所的にいうならば、やっぱり役人の管理する側の立場というのは、これはうまく融合しないことには物事は前へ進んで行かないんじゃないかなと私は常に思っております。ただ、今までの流れと、希望する市民の思いとはだいぶ差がありますので、時間が相当かかるやろなという思いはしております。そんな事で、難しい問題が出てきてるなと思うんです。</p>
議長	<p>抽象的な論議を求めまして、私、ボランティア活動なんかをやってまして、子どもに関わる部分にしましても、何か授業を行ったりした時に、最</p>

近はものすごく保険のことを考え出したんです。だから、ボランティア活動の時は、実は、私も違った所で放課後子ども教室に関わっているんですが、組織の中でボランティアに関わる人は、とにかく保険だけは何とか行政サイドで大したお金かかりませんので、それが最低限できたら後は市民の力でやってもらうしかないなという。何かあった時のボランティアに関わっていただく大人の方の保険とボランティア参加者の保険、多分、支援本部の活動でも保険にかかるところの予算がまず基礎にありますし、あとは、ボランティアの部分というような。時たま発想を変えないと、我々は市民サイドから論じることができなくなってしまってるなという感じがございます。

論議があちこち行ってしまいましたんですけども、上西委員さん、先生の角度から、また委員さんとしてご意見やらお願いします。

H委員

あまり自分の考えがしっかりまとまってないのですが、こういう部分を大事にしていったら良いということは幾つかあります。

例えば、学校のグラウンドは、子どもたちが一生懸命遊んだり、運動するからきれいに整備されていきます。しかし利用しなくなるとすぐ雑草が生えてしまいます。建物もそうじゃないかなと思うのです。やはり人が生活して、そこに居て建物が呼吸するというか、生き返ると思います。生活しなければ建物は当然傷んでいきますし、瓦も柱も障子も傷んでいきますし、廊下もそうでしょう。毎日、古い建物でも磨いていくと黒光りしてくるとか、廊下も光ってくると思います。郷土館は本当に立派な建物です。保存することは大事ですけど、傷んでくるのは当たり前なんだということは何処かにおいてなければと思います。修理していくことが当然必要になってきます。そういうことが先ず必要じゃないでしょうか。

それからやはりPRが大切です。PRが魅力あるものになっているかという事なのです。例えば、色々なパンフレットや広告等を見て、“ああ、是非ともここに行ってみたいなあ”とかいう部分のキーワードというか、メッセージというのがあります。“あ、このコンサート行ってみたい”、“この映画を観てみたい”、“この食事を一度食べてみたい”とか、それはすごくアピールが上手。やはりそれができてないわけではありませんが、もっとアピールすべきじゃないでしょうか。郷土館のホームページを見ても、いつも同じで堅い紹介しかないでは見ません。教育委員会の広報紙「花ばたけ」ではないですが、もっとこのような独特のアピールをホームページでできると思うのです。郷土館へ行ったらこの月はこんな催しがあります。また小さなグループでもずっと続いて行くことが大切です。1年に一度だけ行ったら終わりではだめだと思います。催しの後に、こんなことしましたという情報を流して行く。“ぜひ行ってみたい”と。そういう事がもっと周りの人に魅力が伝わっていくことが大事と違うでしょうか。郷土館のホームページを開いたら、こんな催しをしている、こんな方が利用してる。やっぱりずっと続いて行く為にはリピーターというか、リピート率が高くなかったら続かないです。以前、話を聞いたことあるんで

	<p>すが、東京ディズニーランドが何故あんなに人気があるかという、リピーター率が98%近くある。行けば違う新しい企画がある。施設を大切にすることも大事ですが、行けば何か新しい発見がある。新しい香りがする、匂いを感じるとか。そういう部分はアピールできると思います。お互いに知恵を出し合えば必ずできるのです。大人の発想というのは割りと堅いですから、なかなか新しい企画が発想できない。小学生とか中学生とかは柔軟な発想ができます。あまり欲張らなくてもいいと思います。色んな小さなグループは利用料をもらいます。でも、利用した次の一週間位は無料見学週間とか企画してもいいと思います。こんなコンサートや童謡を唄いましたとか。また、掲示板などがあり、こんな事をやっているのなら生で一度観てみたい、聞いてみたい、触れてみたい、そういう魅力があそこに行けば伝わる。一度行ったらもういいではなくて、今度、9月に行ったらどんなことやってるのかな。もちろん大切な季節季節の行事の飾りとか、催しをされているのは、私、知っていますが、何かちょっと工夫が見られ変化がある。あそこへ行けば心が癒される。知恵を出せば必ず新しい企画・発想ができる気がします。</p> <p>私、小学校や幼稚園に行くのが好きなのです。行ったら毎回違う掲示物とか、季節の花があります。いつまでも同じ掲示物があるのは変化がないし、魅力もないし、もう一度行ってみようとは思わないです。そういう気がするのですが……。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他、委員さんの方でいろいろ具体的な形でお話が出ましたので、次回までにまとめて、次回は10月になろうかと思しますので、ちょっと議事録も見ながら整理をしていきたいと思ひます。今日は、焦点を社会教育施設に絞った形で、主に郷土館が中心になって、公民館、あるいは生涯学習センターのつながりもあろうかなと思ひますけど、時間的な制約がございますので、とりあえず、ここで議題としては終わりたいと思ひますけど、委員さんの方で他に何かございませんでしょうか。</p>
議長	<p>(発言なし)</p> <p>それでは、その他のところに入らせていただきます。 事務局から何かございせんか。</p>
議長	<p>事務局から、前社会教育委員で、前校長の方が5年間の学校通信をまとめられた本を紹介</p> <p>次に、事務局の方から、阪神北地区の協議会の関係でありますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>事務局から、9月29日に開催される「阪神北地区社会教育委員協議会第1回研修会」の出欠について確認された</p>

<p>議長</p> <p>議長</p> <p>議長</p>	<p>他に、委員さん、事務局の方でございませんでしょうか。</p> <p>市民水泳大会開催について委員から説明があった 10月15・16日に、第2回目の川西市民創作ミュージカル 「川西のきんたろう」について委員から説明があった</p> <p>今回のミュージカルには、後援として委員の会の名前を入れさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次回の委員の会でございますけど、9月はお休みいただいておりますので、10月26日の10時から、この場にて開催いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今日の審議を基にしながら、あと残り少ないわけでございますので、集約の方に的を絞っていきたいなというように思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>これもちまして、第4回の委員の会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆さん並びに事務局の皆さん、ご苦労様でした。ありがとうございました。</p>